



分校だより

2月号

令和2年2月3日発行
埼玉県立けやき特別支援学校
伊奈分校
048-723-2201

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりに向けて 教頭 小谷 浩巳
今年度は昨年度に引き続き、けやき特別支援学校本校とともに、「文部科学省 次期学習指導要領に向けた実践研究」の指定及び「埼玉県教育委員会 特別支援学校の新たな学び推進プロジェクト」の研究委嘱を受け、「病弱教育における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」に取り組んできました。

伊奈分校独自の講師招聘研修会としてはこれまでに、長江清和先生（埼玉大学）、新平鎮博先生（相模女子大学）、赫多久美子先生（立教大学）に来ていただきました。実際に授業の様子等を見ていただいて、伊奈分校のこれからの教育の進むべき道を指し示していただきました。2月以降には橋本創一先生（東京学芸大学）、栗原慎二先生（広島大学）にお越しいたします。さらなるバージョンアップを目指して研究していきたいと思っています。

また、年間8回の研究日を設け、ユニバーサルデザイン班とICT班に分かれて研究を進めてきました。それぞれの班が「わかる授業」「できる授業」につながる授業支援教具や活用事例のまとめをしているところです。

12月には公開授業期間を設け、伊奈分校の教職員がお互いの授業を参観し、アドバイスをし合う取組を行いました。少しずつではありますが、1人1人の教職員が「主体的・対話的で深い学び」を意識して授業を改善することができました。

来年度も引き続き、「主体的・対話的で深い学びの授業づくり」を目指し、すべての子どもたちが『わかった』『できた』という喜びが得られる授業、だれもが参加したくなる楽しく魅力的な授業、必要な支援を適切に求めることができる授業を作り上げていくために研究を続けていきたいと思っています。



和文化体験

1月24日（金）に和文化体験“新春落語会”があり、落語家の山柳山柳（やまやなぎさんりゅう）さんが伊奈分校に来てくださいました。

普段落語を聞く機会が少ない私たちにも分かりやすいように、最初は「隣の家に囲いができたってね」「へー」と言った短い落語をいくつか紹介してくれました。夜鳴きそばのお話ではところどころくすくすという笑い声が上がっていました。特に山柳さんがお蕎麦を不味そうにする場面では笑いをこらえることができないようでした。



2月の予定



- | | |
|--------|---------------------|
| 14日（金） | 国際交流授業
第2回学校評議員会 |
| 25日（火） | 研究報告会 14時下校 |

